


弟子規・三字經・孝經
合刊



正視祖國大業
要發揚優良文化

蒙養民族幼苗
須多讀聖賢經書

【目錄】

弟子規	一	三字經	一三三
總敘	一	孝經	四九
入則孝	一	開宗明義章第一	四九
出則弟	四	天子章第二	五二
謹	七	諸侯章第三	五三
信	〇	卿大夫章第四	五四
汎愛眾	四	士章第五	五六
親仁	七	庶人章第六	五八
餘力學文	八	三才章第七	五九
		孝治章第八	六二

聖治章第九	六五
紀孝行章第十	七〇
五刑章第十一	七二
廣要道章第十二	七三
廣至德章第十三	七四
廣揚名章第十四	七六
諫諍章第十五	七七
感應章第十六	八〇
事君章第十七	八二
喪親章第十八	八四



目録

弟子規 クニ
クニ
クニ

◎ 總敘 クニ
クニ

① 弟子規 クニ
クニ
クニ

聖人訓 クニ
クニ
クニ

首孝弟 クニ
クニ
クニ

次謹信 クニ
クニ
クニ

汎愛眾 クニ
クニ
クニ

而親仁 クニ
クニ
クニ

有餘力 クニ
クニ
クニ

則學文 クニ
クニ
クニ

◎ 入則孝 クニ
クニ
クニ

② 父母呼

應勿緩

父母命

行勿懶

父母教

須敬聽

父母責

須順承

③ 冬則溫

夏則清

晨則省

昏則定

出必告

反必面

居有常

業無變

④ 事雖小

勿擅為

苟擅為

子道虧

物雖小 モノトモトコト

勿私藏 モノムチカ

苟私藏 コトムチカ

親心傷 カラコトヲケル

⑤ 親所好 カラトモトコト

力為具 カラトモトコト

親所惡 カラトモトコト

謹為去 カラトモトコト

身有傷 カラトモトコト

貽親憂 カラトモトコト

德有傷 カラトモトコト

貽親羞 カラトモトコト

親愛我 カラトモトコト

孝何難 カラトモトコト

親憎我 カラトモトコト

孝方賢 カラトモトコト

⑥ 親有過 カラトモトコト

諫使更 カラトモトコト

怡吾色 カラトモトコト

柔吾聲 カラトモトコト

諫不入 ヒクウノミ

悅復諫 ヒセヒクノヒク

號泣隨 ノビクノヒク

撻無怨 ヒクノヒク

⑦ 親有疾 クニノミ

藥先嘗 ヒクノヒク

晝夜侍 ヒクノヒク

不離床 ヒクノヒク

喪三年 ヒクノヒク

常悲咽 ヒクノヒク

居處變 ヒクノヒク

酒肉絕 ヒクノヒク

喪盡禮 ヒクノヒク

祭盡誠 ヒクノヒク

事死者 ヒクノヒク

如事生 ヒクノヒク

◎ 出則弟 ヒクノヒク

⑧ 兄道友 トコノカミトモ

弟道恭 ケニカミクニ

兄弟睦 トコノケニトモ

孝在中 トコノチカミ

財物輕 チモノカミ

怨何生 ウラナクニ

言語忍 コトバニカミ

忿自泯 ウレハニカミ

⑨ 或飲食 シヤクニカミ

或坐走 シヤクニカミ

長者先 チカミトモ

幼者後 コシヤクニカミ

長呼人 チカミニカミ

即代叫 チカミニカミ

人不在 チカミニカミ

己即到 チカミニカミ

⑩ 稱尊長 チカミニカミ

勿呼名 チカミニカミ

對尊長 チカミニカミ

勿見能 チカミニカミ

路遇長 カミハカミ

疾趨揖 ヒレクム

長無言 カミムコト

退恭立 ヒクマツカミ

騎下馬 クニイマ

乘下車 ノリイマ

過猶待 スギマツル

百步餘 ヒャクフタヒ

⑪ 長者立 カミタチカミ

幼勿坐 コトマフカミ

長者坐 カミカミ

命乃坐 ノミタマフカミ

尊長前 カミカミカミ

聲要低 コエニカミ

低不聞 カミコトカミ

卻非宜 シカシカミ

進必趨 ヒデクム

退必遲 ヒクム

問起對 トヒクム

視勿移 シタマフ

⑫ 事諸父

如事父

事諸兄

如事兄

◎ 謹

⑬ 朝起早

夜眠遲

老易至

惜此時

晨必盥

兼漱口

便溺回

輒淨手

⑭ 冠必正

紐必結

襪與履

俱緊切

置冠服

出 々 出 出

有定位

又 又 又 又

勿亂頓

又 又 又 又

致污穢

出 又 又 又

⑮ 衣貴潔

一 又 又 又

不貴華

又 又 又 又

上循分

又 又 又 又

下稱家

又 又 又 又

對飲食

又 又 又 又

勿揀擇

又 又 又 又

食適可

又 又 又 又

勿過則

又 又 又 又

年方少

又 又 又 又

勿飲酒

又 又 又 又

飲酒醉

又 又 又 又

最為醜

又 又 又 又

⑯ 步從容

又 又 又 又

立端正

又 又 又 又

揖深圓

一 又 又 又

拜恭敬

又 又 又 又

⑰

勿踐闕

緩揭簾

執虛器

事勿忙

鬥鬧場

勿跛倚

勿有聲

如執盈

忙多錯

絕勿近

勿箕踞

寬轉彎

入虛室

勿畏難

邪僻事

勿搖髀

勿觸稜

如有人

勿輕略

絕勿問

⑱

將入門 ヒテ 入ル

問孰存 ヒテ 孰ク 存ス

將上堂 ヒテ 上ル

聲必揚 ヒテ 聲ヲ 揚ス

人問誰 ヒテ 誰ニ 問フ

對以名 ヒテ 名ニ 對ス

吾與我 ヒテ 吾ニ 我ニ

不分明 ヒテ 明ク 不ク

用人物 ヒテ 人物ヲ 用フ

須明求 ヒテ 明ク 求ム

尙不問 ヒテ 問フ 不ク

即為偷 ヒテ 偷ニ 為ル

借人物 ヒテ 人物ヲ 借ル

及時還 ヒテ 時ニ 還ス

後有急 ヒテ 急ニ 後ニ

借不難 ヒテ 難ク 借ル

◎ 信 ヒテ

①9 凡出言
ヒマ イメ 一マ

信為先
トマ メヒ トマ

詐與妄
ヒマ ヒマ ヌヒ

奚可焉
ト一 マヒ 一マ

話說多
ヒマ ヒマ マヒ

不如少
ヒマ ヒマ マヒ

惟其是
ヒマ ヒマ マヒ

勿佞巧
ヒマ ヒマ マヒ

奸巧語
ヒマ ヒマ マヒ

穢汚詞
ヒマ ヒマ マヒ

市井氣
ヒマ ヒマ マヒ

切戒之
ヒマ ヒマ マヒ

②0 見未真
ヒマ ヒマ マヒ

勿輕言
ヒマ ヒマ マヒ

知未的
ヒマ ヒマ マヒ

勿輕傳
ヒマ ヒマ マヒ

事非宜
ヒマ ヒマ マヒ

勿輕諾
ヒマ ヒマ マヒ

苟輕諾
ヒマ ヒマ マヒ

進退錯
ヒマ ヒマ マヒ

凡道字

重且舒

勿急疾

勿模糊

彼說長

此說短

不關己

莫閒管

②1 見人善

即思齊

縱去遠

以漸躋

見人惡

即內省

有則改

無加警

②2 唯德學

唯才藝

不如人

當自礪

若衣服

若飲食

不如人

勿生感

②③ 聞過怒

聞譽樂

損友來

益友卻

聞譽恐

聞過欣

直諒士

漸相親

②④ 無心非

名為錯

有心非

名為惡

過能改

歸於無

倘揜飾

增一辜

◎ 汎愛衆

②5 凡是人

皆須愛

天同覆

地同載

②6 行高者

名自高

人所重

非貌高

才大者

望自大

人所服

非言大

②7 己有能

勿自私

人所能

勿輕訾

②8

勿諂富

人不閒

人有短

道人善

揚人惡

勿驕貧

勿事攬

切莫揭

即是善

即是惡

勿厭故

人不安

人有私

人知之

疾之甚

勿喜新

勿話擾

切莫說

愈思勉

禍且作

善相勸 スル 工无 くん

德皆建 カキ 世 世

過不規 スル 不 規

道兩虧 カキ 不 不

②9 凡取與 トク くん 与

貴分曉 タカ 分 曉

與宜多 与 宜 多

取宜少 とく 宜 少

將加人 シテ 加 人

先問己 マデ 問 己

己不欲 己 不 欲

即速已 即 速 已

恩欲報 恩 欲 報

怨欲忘 怨 欲 忘

報怨短 報 怨 短

報恩長 報 恩 長

③0 待婢僕 待 婢 僕

身貴端 身 貴 端

雖貴端 雖 貴 端

慈而寬 慈 而 寬

勢服人ハ
ヒク
ヨク
ヨク

心不然コ
ヲ
ク
ク
ヨク

理服人カ
ク
ヒク
ヨク

方無言ヒ
ク
ク
ヨク

◎ 親仁ク
ヨク
ヨク

③① 同是人ヒ
ク
ハ
ヨク

類不齊カ
ク
ク
ク

流俗眾カ
ク
ク
ク

仁者希ヨク
ク
ク
ク

果仁者ヒ
ク
ヨク
ク

人多畏ヨク
ク
ク
ク

言不諱コ
ク
ク
ク

色不媚ヒ
ク
ク
ク

能親仁ヨク
ク
ク
ヨク

無限好ク
ク
ク
ク

德日進ヒ
ク
ク
ク

過日少ヒ
ク
ク
ク

不親仁

無限害

小人進

百事壞

◎餘力學文

③② 不力行

但學文

長浮華

成何人

但力行

不學文

任己見

昧理真

③③ 讀書法

有二到

心眼口

信皆要

③4

墨磨偏	房室清	心有疑	寬為限	方讀此
ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ

心不端	牆壁淨	隨札記	緊用功	勿慕彼
ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ

字不敬	几案潔	就人問	功夫到	此未終
ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ

心先病	筆硯正	求確義	滯塞通	彼勿起
ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ	ヒセ ヒセ ヒセ

列典籍カセクフヒ

有定處ニヤカクニヤ

讀看畢カメチクク

還原處カクヒキニヤ

雖有急タモトニヤヒ

卷束齊ヒキムクニヤ

有缺壞ニヤクセクニヤ

就補之ヒヤクニヤ

非聖書ヒエムクニヤ

屏勿視クニヤクニヤ

蔽聰明カクチクニヤ

壞心志ヒヤクニヤ

勿自暴クニヤクニヤ

勿自棄クニヤクニヤ

聖與賢ムクニヤ

可馴致カクニヤ

弟子規カクニヤ
(終)ヒヤクニヤ

三字經



黎明即起，灑掃庭除，要內外整潔。
既昏便息，關鎖門戶，必親自檢點。
一粥一飯，當思來處不易。
半絲半粒，恆念物力維艱。

朱子治家格言

三字經

① 人之初

苟不教

昔孟母

竇燕山

性本善

性乃遷

擇鄰處

有義方

性相近

教之道

子不學

教五子

習相遠

貴以專

斷機杼

名俱揚

香九齡

為人子

玉不琢

子不學

養不教

能溫席

方少時

不成器

非所宜

父之過

孝於親

親師友

人不學

幼不學

教不嚴

所當執

習禮儀

不知義

老何為

師之情

融四歲 見トハムス

能讓梨 ヲムルヲカ

弟於長 トハムス

宜先知 一トマ

② 首孝弟 又ト云

次見聞 ハヒク

知某數 トク

識某文 ハトク

一而十 一ル

十而百 十ル

百而千 百ル

千而萬 千ル

三才者 トク

天地人 トク

三光者 トク

日月星 トク

三綱者 トク

君臣義 トク

父子親 トク

夫婦順 トク

日春夏

日世 冬 夏 工 乙

日秋冬

日世 冬 夏 冬 乙

此四時

此 公 公 乙

運不窮

日 公 公 乙

日南北

日世 南 北 乙

日西東

日世 丁 乙

此四方

此 公 公 乙

應乎中

乙 公 公 乙

日水火

日世 火 水 乙

木金土

日 乙 乙 乙

此五行

此 乙 乙 乙 乙

本乎數

日 乙 乙 乙

十干者

日 乙 乙 乙

甲至癸

日 乙 乙 乙

十二支

日 乙 乙 乙

子至亥

日 乙 乙 乙

日黃道

日世 乙 乙 乙

日所躔

日 乙 乙 乙

日赤道

日世 乙 乙 乙

當中權

日 乙 乙 乙

赤道下
イカズニ

溫暖極
メラニ

我中華
メニ

在東北
フカニ

日江河
ヒカガハ

日淮濟
ヒカハ

此四瀆
ココニ

水之紀
ミヅノキ

日岱華
ヒタエ

嵩恆衡
ソウコウ

此五岳
ココニ

山之名
ヤマノナ

日士農
ヒシノウ

日工商
ヒコウ

此四民
ココニ

國之良
クニノヨシ

日仁義
ヒニギ

禮智信
レイチシン

此五常
ココニ

不容紊
コトヲ

日喜怒

ヒセ
ニ
ウ
ク

馬牛羊

ウマ
ウシ
ヒツ

稻粱菽

コメ
カネ
アズ

有蟲魚

アリ
ムシ
イサ

地所生

チ
ノ
ナ

日哀懼

ヒセ
アハ
ヒ

雞犬豕

トリ
イヌ
ブ

麥黍稷

ムギ
アヲ
ヒ

有鳥獸

アリ
トリ
ベ

有草木

アリ
キ
ノ

愛惡欲

アハ
ク
ヒ

此六畜

コノ
ムウ
シ

此六穀

コノ
ムギ
ノ

此動物

コノ
ムシ
ノ

此植物

コノ
キ
ノ

七情具

シチ
シヨ
ヒ

人所飼

ヒト
ノ
シ

人所食

ヒト
ノ
シ

能飛走

トビ
キ
ル

徧水陸

ツラ
シ
ル

青赤黃 クニ イノ ノ

及黑白 ヒノ ノヒ ヲ

此五色 チ ヌメ ムキ

目所識 メ ノミヤク

酸苦甘 アマ 苦 ム

及辛鹹 ヒノ トウ ト

此五味 チ ヌメ ムキ

口所含 クチ ノミヤク

羶焦香 アヲ ヒノ ト

及腥朽 ヒノ トウ ト

此五臭 チ ヌメ ムキ

鼻所嗅 ハナ ノミヤク

匏土革 アヲ 土ノ 革

木石金 キノ イシノ カネ

絲與竹 イト ヲト

乃八音 ナノ ヤツ

日平上 ヒノ ヒラカ

日去入 ヒノ イクコト

此四聲 チ シノ

宜調協 イノ テウキョウ

高曾祖

父而身

身而子

子而孫

自子孫

至玄曾

乃九族

人之倫

父子恩

夫婦從

兄則友

弟則恭

長幼序

友與朋

君則敬

臣則忠

此十義

人所同

當順敘

勿違背

斬齊衰 セウ
ハ
チ

大小功 コウ
トウ
コウ

至總麻 セウ
ム
マ

五服終 ゴ
フク
シュウ

禮樂射 レイ
ラク
セ

御書數 ゴ
ショ
スウ

古六藝 コ
ロク
ゲイ

今不具 イマ
フ
ク

惟書學 ツイ
ショ
ガク

人共遵 ヒト
トモ
ツク

既識字 イ
チ
ジ

講說文 コウ
セツ
ブン

有古文 ユウ
コ
ブン

大小篆 コウ
トウ
セン

隸草繼 レイ
ソウ
ヰ

不可亂 イ
カ
ラン

若廣學 ニホク
コウ
ガク

懼其繁 ク
シ
シ

但略說 タ
リョク
セツ

能知原 ノウ
チ
ゲン

③ 凡訓蒙

須講究

詳訓詁

明句讀

為學者

必有初

小學終

至四書

論語者

二十篇

群弟子

記善言

孟子者

七篇止

講道德

說仁義

作中庸

子思筆

中不偏

庸不易

作大學 スセカクイニシセ

乃曾子 スナカクニシ

自修齊 ハシイヌクニ

至平治 ハシタツニシ

孝經通 トコニヒノチウ

四書熟 ハシイヌクニ

如六經 トコカクニヒノチ

始可讀 ハシイヌクニ

詩書易 シイヌクニ

禮春秋 レイシウキウ

號六經 カクニヒノチ

當講求 トコニヒノチ

有連山 アツカクニヒノチ

有歸藏 アツカクニヒノチ

有周易 アツカクニヒノチ

三易詳 サンイニヒノチ

有典謨 アツカクニヒノチ

有訓誥 アツカクニヒノチ

有誓命 アツカクニヒノチ

書之奧 シイヌクニヒノチ

我周公

ㄨㄛˇ ㄉㄨ ㄍㄨㄥ

作周禮

ㄗㄨㄛˋ ㄉㄨ ㄌㄧˇ

著六官

ㄓㄨˋ ㄌㄧㄨˋ ㄍㄨㄢ

存治體

ㄘㄨㄣˊ ㄓㄧˋ ㄊㄩˇ

大小戴

ㄉㄠˋ ㄒㄩㄥ ㄉㄞ

註禮記

ㄓㄨˋ ㄌㄧˇ ㄐㄧ

述聖言

ㄕㄨˋ ㄕㄨㄥ ㄩㄢ

禮樂備

ㄌㄧˇ ㄌㄜˋ ㄅㄟ

曰國風

ㄩㄛˇ ㄍㄨㄛˋ ㄈㄨㄥ

曰雅頌

ㄩㄛˇ ㄩㄚˇ ㄙㄨㄥˋ

號四詩

ㄏㄠˋ ㄙㄩˋ ㄕㄨˋ ㄕㄨˋ

當諷詠

ㄉㄨㄤ ㄈㄨㄥ ㄩㄥ

詩既亡

ㄕㄨˋ ㄐㄧˋ ㄨㄤ

春秋作

ㄕㄨㄥ ㄑㄩˋ ㄗㄨㄛˋ

寓褒貶

ㄨㄞ ㄅㄠ ㄅㄞ ㄕㄨㄢ

別善惡

ㄅㄛˊ ㄕㄨㄢ ㄍㄨˋ

三傳者

ㄙㄢ ㄘㄨㄢ ㄘㄨㄛˋ

有公羊

ㄩˇ ㄍㄨㄥ ㄩㄥ

有左氏

ㄩˇ ㄗㄨㄛˋ ㄕㄨˋ

有穀梁

ㄩˇ ㄍㄨˋ ㄌㄧㄤ

經ヒノ既ヒノ明コト

方ヒノ讀カク子コト

撮ヒノ其ク要コト

記ヒノ其ク事コト

五イノ子コト者ナリ

有ア苟コト揚コト

文イノ中コト子コト

及ヒノ老カク莊コト

經ヒノ子コト通コト

讀カク諸コト史コト

考ヒノ世コト系コト

知ヒノ終コト始コト

④ 自ハ義ヒノ農コト

至ヒノ黃カク帝コト

號ヒノ三コト皇コト

居ヒノ上コト世コト

唐ヒノ有ヒノ虞コト

號ヒノ二コト帝コト

相ヒノ揖コト遜コト

稱ヒノ盛コト世コト

夏有禹

商有湯

周文武

稱三王

夏傳子

家天下

四百載

遷夏社

湯伐夏

國號商

六百載

至紂亡

周武王

始誅紂

八百載

最長久

周轍東

王綱墜

逞干戈

尚游說

始ア春イ秋ク

終ヒ戰フ國ク

五イ霸ハ強ク

七チ雄ヂ出ツ

嬴ア秦シ氏シ

始ア兼ヒ併フ

傳イ二ニ世セ

楚ソ漢カン爭ソウ

高カウ祖ソ興キョウ

漢カン業ヤク建ケン

至シ孝コウ平ヘイ

王オウ莽マウ篡ソウ

光カウ武ブ興キョウ

為イ東トウ漢カン

四シ百ヒャク年ネン

終シュウ於オ獻ケン

魏イ蜀シヤク吳ウ

爭ソウ漢カン鼎テイ

號カウ二ニ國クニ

迄キ兩リウ晉シン

宋齊繼

梁陳承

為南朝

都金陵

北元魏

分東西

宇文周

與高齊

迨至隋

一土宇

不再傳

失統緒

唐高祖

起義師

除隋亂

創國基

二十傳

三百載

梁滅之

國乃改

梁唐晉

カ无 去无 日无

及漢周

ヒ一 厂无 虫又

稱五代

イ一 又 久无

皆有由

ヒ世 二又 二又

炎宋興

一弓 么么 工一

受周禪

又 虫又 弓无

十八傳

ア 久イ 彳无

南北混

三弓 久イ 厂无

遼與金

カ无 一 日无

皆稱帝

ヒ世 イ一 久一

元滅金

日弓 口世 日无

絕宋世

ヒ世 么么 一

輿圖廣

一 去无 彳无

超前代

イ么 久弓 久无

九十年

日又 一 三弓

國祚廢

彳无 一 一

太祖興

去无 一 工一

國大明

彳无 久イ 口一

號洪武

厂么 厂无 又

都金陵

カ无 日无 久一

迨成祖 トクヘン トク

遷燕京 ケンエン ケン

十六世 ジュウロク セイ

至崇禎 シチュウテン シ

闡亂後 ケンランゴウ ケン

寇如林 クウニョリン ク

李闖出 リケンシュツ リ

神器終 ケンキシュウ ケン

清世祖 セイセソウ セイ

膺景命 オウケイメイ オウ

靖四方 セイシフウ セイ

克大定 キョクダイテイ キョク

由康雍 ユウカウオウ ユウ

歷乾嘉 リキョウカ キョウ

民安富 ミンアンフ ミン

治績誇 チセキホウ チ

道咸間 トウケンカン トウ

變亂起 ヘンランキ ヘン

始英法 シエイポフ シ

擾都鄙 ジョトヒョウ ジョ

同光後

宣統弱

傳九帝

滿清歿

革命興

廢帝制

立憲法

建民國

古今史

全在茲

載治亂

知興衰

史雖繁

讀有次

史記一

漢書二

後漢三

國志四

兼證經

參通鑑

讀史者カクシヤクシキ

考實錄カクシヤクシキ

通古今カクシヤクシキ

若親目カクシヤクシキ

口而誦カクシヤクシキ

心而惟カクシヤクシキ

朝於斯カクシヤクシキ

夕於斯カクシヤクシキ

⑤ 昔仲尼カクシヤクシキ

師項橐カクシヤクシキ

古聖賢カクシヤクシキ

尚勤學カクシヤクシキ

趙中令カクシヤクシキ

讀魯論カクシヤクシキ

彼既仕カクシヤクシキ

學且勤カクシヤクシキ

披蒲編カクシヤクシキ

削竹簡カクシヤクシキ

彼無書カクシヤクシキ

且知勉カクシヤクシキ

頭懸梁 カヌ
トコ
カヌ

如囊螢 トメ
ユル
ユル

如負薪 トメ
ヒメ
トコ

蘇老泉 ムメ
カヌ
クシマ

彼既老 カニ
ヒメ
カヌ

錐刺股 カヌ
カ
カヌ

如映雪 トメ
ヒメ
トコ

如掛角 トメ
カヌ
カヌ

二十七 ヒ
カ
カ

猶悔遲 カニ
カ
カ

彼不教 カニ
カ
カ

家雖貧 ヒ
カ
カ

身雖勞 ヒ
カ
カ

始發憤 カ
カ
カ

爾小生 ヒ
カ
カ

自勤苦 カ
カ
カ

學不輟 ト
カ
カ

猶苦卓 カ
カ
カ

讀書籍 カ
カ
カ

宜早思 カ
カ
カ

若梁灑 ニカカニハカ

八十二 カヤニハル

對大廷 タカカヤタニ

魁多士 タカタカハ

彼既成 カニヒニシム

眾稱異 タカニイムハ

爾小生 ニカニシム

宜立志 ニカニシム

瑩八歲 ニシカヤタニ

能詠詩 ニシカヤタニ

泌七歲 ニシカヤタニ

能賦碁 ニシカヤタニ

彼穎悟 カニヒニシム

人稱奇 タカニイムハ

爾幼學 ニカニシム

當效之 ニカニシム

蔡文姬 ニカニシム

能辨琴 ニシカヤタニ

謝道韞 ニシカヤタニ

能詠吟 ニシカヤタニ

彼女子 クニ
コノ
メ

且聰敏 クニ
チ
カ
メ

爾男子 ニ
コノ
ヲ

當自警 カ
ク
ニ
カ
ム

唐劉晏 タ
カ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

方七歲 ヒ
タ
シ
ノ
ト

舉神童 ヒ
タ
シ
ノ
ヲ

作正字 ヒ
タ
シ
ノ
ヲ

彼雖幼 クニ
タ
シ
ノ
ト

身已仕 ニ
シ
タ
リ

有為者 ニ
シ
タ
リ

亦若是 ヒ
タ
シ
ノ
ト

⑥ 犬守夜 クニ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

雞司晨 ヒ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

苟不學 ヒ
タ
シ
ノ
ト

曷為人 ヒ
タ
シ
ノ
ト

蠶吐絲 クニ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

蜂釀蜜 ヒ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

人不學 ヒ
タ
シ
ノ
ト

不如物 ヒ
タ
シ
ノ
ト

幼而學

壯而行

上致君

下澤民

揚名聲

顯父母

光於前

裕於後

人遺子

金滿籬

我教子

惟一經

勤有功

戲無益

戒之哉

宜勉力

孝經



讀書志在聖賢，非徒科第。
爲官心存君國，豈計身家。
守分安命，順時聽天。
爲人若此，庶乎近焉。

朱子治家格言

孝經 工公 二一

◎ 開宗明義章第一 五所 二二 二二 一 二

仲尼居。曾子侍。子曰。先

王有至德要道。以順天下。民用

和睦。上下無怨。汝知之乎。曾

子ア避ク席シ曰ハセ。參ア不ク敏ク。何レ足レ以テ知ル之ヲ。

。子ア曰ハセ。夫レ孝コ。德トク之ノ本ホ也ナリ。教ウ之ヲ。

所ヨ由リ生ム也ナリ。復シ坐マ。吾レ語ハ汝ニ。

身ミ體タ髮ウ膚ク。受ケ之ヲ父コ母ノ。不ク敢ク。

毀ク傷ム。孝コ之ノ始ハ也ナリ。立ツ身ミ行ク道ミチ。揚ト。

名ナ於リ後ノ世ニ。以テ顯ス父ノ母ノ。孝ノ之ノ終ニ也。

。

夫ハ孝ノ。始メ於リ事ノ親ニ。中メ於リ事ノ君ニ。

終ニ於リ立テ身ヲ。大ニ雅ニ云フ。無ク念ム爾ノ祖ノ。

。聿シ脩ム厥ノ德ヲ。

◎天子章第二

子曰。愛親者。不敢惡於人。

。敬親者。不敢慢於人。愛敬盡

於事親。而德教加於百姓。刑於

四海。蓋天子之孝也。甫刑云。

一人有慶。兆民賴之。

◎ 諸侯章第三

在上不驕。高而不危。制節

謹度。滿而不溢。高而不危。所以長守貴也。滿而不溢。所以長

守富也。富貴不離其身。然後能

保其社稷。而和其民人。蓋諸侯

之孝也。《詩》云。戰戰兢兢。

如臨深淵。如履薄冰。

◎ 卿大夫章第四

非先王之法服。不敢服。非

先王之法言。不敢道。非先王之

德性。不敢行。是故。非法不言

。非道不行。口無擇言。身無擇

行。言滿天下無口過。行滿天下

無怨惡。三者備矣。然後能守其

宗廟。蓋卿大夫之孝也。詩云。

夙夜匪懈。以事一人。

◎ 士章第五

資於事父以事母而愛同。資

於事父以事君而敬同。故母取其
愛。而君取其敬。兼之者父也。
故以孝事君則忠。以敬事長則順。
。忠順不失。以事其上。然後能
保其祿位。而守其祭祀。蓋士之

孝也。《詩》云。夙興夜寐。無

忝爾所生。

◎ 庶人章第六

用天之道。分地之利。謹身

節用。以養父母。此庶人之孝也

故自天子至於庶人。孝無終始。
而患不及者。未之有也。

◎ 三才章第七

曾子曰。甚哉。孝之大也。

子曰。夫孝。天之經也。地之義

也。民之行也。天地之經。而民

是則之。則天之明。因地之利。

以順天下。是以其教不肅而成。

其政不嚴而治。先王見教之可以

化民也。是故先之以博愛。而民

莫遺其親。陳之於德義。而民興
行。先之以敬讓。而民不爭。導
之以禮樂。而民和睦。示之以好
惡。而民知禁。《詩》云。赫赫
師尹。民具爾瞻。

◎ 孝治章第八

子曰。昔者明王之以孝治天

下也。不敢遺小國之臣。而況於

公。侯。伯。子。男乎。故得萬

國之權心。以事其先王。

治國者不敢侮於鰥寡。而況
於士民乎。故得百姓之權心。以
事其先君。治家者不敢失於臣妾
。而況於妻子乎。故得人之權心
。以事其親。

夫然。故生則親安之。祭則

鬼享之。是以天下和平。災害不

生。禍亂不作。故明王之以孝治

天下也如此。《詩》云。有覺德

行。四國順之。

◎ 聖治章第九

曾子曰。敢問聖人之德。

無以加於孝乎。子曰。天地之性

。人為貴。人之行。莫大於孝。

孝莫大於嚴父。嚴父莫大於配天

則周公其人也。昔者。周公郊

祀后稷以配天。宗祀文王於明堂

以配上帝。是以四海之內。各以

其職來祭。夫聖人之德。又何以

加於孝乎。故親生之膝下。以養

父^ニ母^ニ日^毎嚴^{シク}。聖^人因^テ嚴^ニ以^テ教^ム敬^ム。因^テ
親^ニ以^テ教^ム愛^ム。聖^人之^ノ教^ム。不^レ肅^ニ而^{シテ}成^ル
。其^ノ政^ム不^レ嚴^ニ而^{シテ}治^ム。其^ノ所^レ因^ル者^ハ。本^ニ
也^{ナリ}。父^子之^ノ道^ハ。天^性也^{ナリ}。君^臣之^ノ
義^ハ也^{ナリ}。父^母生^ズ之^ヲ。續^ク莫^ク大^キ焉^{ナリ}。君

親臨之。厚莫重焉。故不愛其親
而愛他人者。謂之悖德。不敬其
親而敬他人者。謂之悖禮。以順
則逆。民無則焉。不在於善。而
皆在於凶德。雖得之。君子不貴

也^{一セ}。君子^{ヒラ}則^ハ不^レ然^ク。言^ハ思^ム可^ク道^ク。行^ハ
思^ム可^ク樂^カ。德^カ義^ハ可^ク尊^バ。作^ハ事^ハ可^ク法^フ。
容^ム止^ム可^ク觀^ム。進^ハ退^ハ可^ク度^ク。以^テ臨^ム其^ノ民^ヲ
。是^ハ以^テ其^ノ民^ヲ畏^ル而^テ愛^ス之^ヲ。則^レ而^テ象^ス之^ヲ
。故^ニ能^ク成^ル其^ノ德^ヲ教^ム。而^テ行^ハ其^ノ政^ヲ令^ス。

《詩》云。淑人君子。其儀不忒。

◎紀孝行章第十

子曰。孝子之事親也。居則

致其敬。養則致其樂。病則致其

憂。喪則致其哀。祭則致其嚴。

五者備矣。然後能事親。事親者
。居上不驕。為下不亂。在醜不
爭。居上而驕則亡。為下而亂則
刑。在醜而爭則兵。三者不除。
雖日用三牲之養。猶為不孝也。

◎五刑章第十一

子曰。五刑之屬三千。而罪

莫大於不孝。要君者無上。非聖

人者無法。非孝者無親。此大亂

之道也。

◎ 廣スル要ニ道ニ章ノ第ニ十ニ二ノ

子ハ曰ク。教ム民ヲ親シ愛ス。莫ク善ム於テ孝ニ

。教ム民ヲ禮ニ順ス。莫ク善ム於テ悌ニ。移ス風ヲ易ス

俗ヲ。莫ク善ム於テ樂ニ。安シ上ニ治ム民ヲ。莫ク善ム

於テ禮ニ。禮者。禮者。敬ム而シテ已ル矣ハ。故ニ敬ム其ノ

父則子悅。敬其兄則弟悅。敬其

君則臣悅。敬一人而千萬人悅。

所敬者寡。而悅者眾。此之謂要

道也。

◎ 廣至德章第十三

子曰。君子之教以孝也。非
家至而日見之也。教以孝。所以
敬天下之為人父者也。教以悌。
所以敬天下之為人兄者也。教以
臣。所以敬天下之為人君者也。

《詩》云。愷悌君子。民之父母。

。非至德。其孰能順民。如此其

大者乎。

◎ 廣揚名章第十四

子曰。君子之事親孝。故忠

可カ移シ於ニ君ノ。事コト兄ニ悌トシ。故ユヘ順ニ可シ移ス於ニ長ニ。居家理ニ。故ユヘ治ニ可シ移ス於ニ官ニ。是以行成於內。而名立於後世矣。

◎ 諫諍章第十五

曾子ソウシ曰ク。若夫慈愛。恭敬。

安親。揚名。則聞命矣。敢問子

從父之令。可謂孝乎。子曰。是

何言與。是何言與。昔者天子有

爭臣七人。雖無道。不失其天下

。諸侯有爭臣五人。雖無道。不

失其國。大夫有爭臣三人。雖無
道。不失其家。士有爭友。則身
不離於令名。父有爭子。則身不
陷於不義。故當不義。則子不可
以不爭於父。臣不可以不爭於君

。故當不義則爭之。從父之令。

又焉得為孝乎。

◎感應章第十六

子曰。昔者明王事父孝。故

事天明。事母孝。故事地察。長

幼順。故上下治。天地明察。神明彰矣。故雖天子。必有尊也。言有父也。必有先也。言有兄也。宗廟致敬。不忘親也。脩身慎行。恐辱先也。宗廟致敬。鬼神

著トク矣一。孝トク悌トク之トク至トク。通トク於トク神トク明トク。光トク

於トク四トク海トク。無トク所トク不トク通トク。《詩トク》云トク。

自トク西トク自トク東トク。自トク南トク自トク北トク。無トク思トク不トク服トク

。

◎ 事トク君トク章トク第トク十トク七トク

子曰。君子之事上也。進思

盡忠。退思補過。將順其美。匡

救其惡。故上下能相親也。《詩

》云。心乎愛矣。遐不謂矣。中

心藏之。何日忘之。

◎喪親章第十八

子曰。孝子之喪親也。哭不

偯。禮無容。言不文。服美不安

。聞樂不樂。食旨不甘。此哀戚

之情也。三日而食。教民無以死

傷生。毀不滅性。此聖人之政也。
喪不過三年。示民有終也。為
之棺。槨。衣。衾而舉之。陳其
簠簋而哀感之。擗踊哭泣。哀以
送之。卜其宅兆。而安措之。為

之宗廟。以鬼享之。春秋祭祀。

以時思之。生事愛敬。死事哀感。

。生民之本盡矣。死生之義備矣。

。孝子之事親終矣。



祖宗雖遠，祭祀不可不誠。

子孫雖愚，經書不可不讀。

居身務其質樸，訓子要有義方。

勿貪意外之財，莫飲過量之酒。

與肩挑貿易，毋佔便宜。

見貧苦親隣，須加溫恤。

刻薄成家，理無久享。

倫常乖舛，立見消亡。

兄弟叔姪，須分多潤寡。

長幼內外，宜辭嚴法肅。

聽婦言，乖骨肉，豈是丈夫。

重貲財，薄父母，不成人子。

嫁女擇佳婿，毋索重聘。

娶婦求淑女，勿計厚奩。

見富貴而生諂容者，最可恥。

見貧窮而作驕態者，賤莫甚。

居家戒爭訟，訟則終凶。
處世戒多言，言多必失。
毋恃勢力而凌逼孤寡。
勿貪口腹而恣殺牲禽。
乖僻自是，悔誤必多。
頹惰自甘，家道難成。
狎昵惡少，久必受其累。
屈志老成，急則可相倚。

輕聽發言，安知非人之譖愬，當忍耐三思。因事相爭，安知非我之不是，須平心再想。施惠無念，受恩莫忘。凡事當留餘地，得意不宜再往。

朱子治家格言